



毎度お世話になっております。株式会社シロクマです。東日本の長雨、日照不足が農作物の生育やレジャー産業に打撃を与えた今年の夏ですが、スポーツ界では卓球・張本選手の史上最年少ワールドツアー優勝、バドミントン・奥原選手の世界選手権での日本人初優勝、サッカーのワールドカップ本大会への6年連続出場など元気が出る話題が続きましたね。

今月のホット情報

重切削の立型マシニングセンタ GF6



株式会社シロクマは牧野フライス製作所の立形マシニングセンタ「GF6」を8月に新築した平野新工場に導入しました。「GF6」は重切削対応で、高速加工機とは比較にならないほど主軸剛性が高い機種です。太いドリルでも気にせず使い、加工できるワークサイズは600×1050mmという大きさ。二次元的な形状の加工に向いています。剛性の高い大径エンドミルが使えるので、高速加工機では困難な深いポケットもきれいに仕上げることができます。重切削、荒取りとして使いながら精度も出せるところがポイントです。

金型ではモールドベースの加工全般や、削り代が多い入子の荒取り加工などに向いています。主軸回転数が低いので、ボールエンドミルで曲面を仕上げるような加工には向きませんが、その場合は高速加工機の「V33i」と「V56i」にお任せください。「V33i」「V56i」は薄く速く削ることで、曲面が複雑に組み合わさった形状をきめ細かく仕上げることができます。金型では入子の仕上げ加工に向いています。

細穴加工機で焼入れ材の穴あけが簡単に

続いて9月に導入したのはソディックの細穴加工機です。ドリル加工が困難な焼入れ材への穴あけ加工が簡単にできます。標準ではφ0.3mmからφ3.0mmまで0.1mm刻みで対応します。例えばHRC60程度のSKD11の焼入れ40厚ブロックにも、簡単に穴をあけることができます。基本的にはワイヤーカットのスタート穴など通し穴の加工に使いますが、精度を必要としない止まり穴などにも活用できます。

必見！展示会情報

国際福祉機器展 H.C.R.2017に出展！

シロクマブース番号 5-13-08

9月27日(水)～29日(金)、東京ビッグサイトで「第44回国際福祉機器展 H.C.R.2017」が開催されます。

15カ国1地域から530社が最新の福祉機器を総合展示する介護・福祉分野では国内最大の展示会で、昨年は12万3千人近い来場で盛り上がりました。

株式会社シロクマは18回連続出場となり、今年も使う人、施工する人の立場に立った新製品を多数出品します。

社員一同、皆様方のご来場を心よりお待ちしております。

